

各校のお宝紹介

津森小学校


しょうとく
 矢嶋楯子先生頌徳碑

益城町出身の「四賢婦人」の一人、矢嶋楯子の偉業をたたえた記念碑で、校門のすぐ右に建っています。楯子は明治から大正にかけて女子教育や女性の地位向上に尽くし、国際的にも活躍した人です。大正14年、93歳で亡くなりましたが、この碑はその翌年に建立されています。



徳富蘇峰卒寿里帰記念樹

石碑を覆うように茂っているこの銀杏の木は蘇峰が90歳の時(昭和27年)杉堂の生家に里帰りした時に植えられた記念樹です。


 「創意工夫育成功労学校」
 文部科学大臣表彰記念の碑

校門を入ると正面に「探究心」と刻まれた石碑があります。これは、県科学展への継続した取り組みが認められ、平成13年に表彰を受けたことを記念した碑で、現在も「つもり研究」として力を入れています。



子どもの像「風」

校舎裏に、風の子の像が辻ヶ峰を見上げています。創立100周年を記念して昭和61年に建てられたものです。見上げる辻ヶ峰には、昭和21年、修学旅行の際、日奈久沖で遭難された方々の慰霊塔が建っています。



二宮尊徳(金次郎)像

校門の横に校舎に向かって建っています。尊徳は、少年期河川洪水のため一家離散の憂き目をみましたが、勉学と勤儉力行の末、農村復興に貢献した人物として有名です。

益城中学校

管理棟2階玄関のステンドグラス

平成5年度卒業生全員の制作による卒業記念品で、来校者の心を和ませています。



旧校舎上棟式の木簡

表面には、堂々とした筆遣いの「益城中学校上棟式」の文字が記され、その下に校舎建築にたずさわった方々の名が書かれています。裏面には「昭和二十五年八月二十二日」の日付とともに、棟梁6人の名が残されています。高さ1m強の厚板で、本校の歴史に思いを馳せる貴重なお宝です。

